

いのうえ みつはる

井上光晴

* 大正15年5月15日 中国・旅順生まれ

* 平成4年5月30日 没（66歳）



写真提供: 週刊「読書人」

○ 略歴

昭和31年 上京後、「週刊新潮」記者などを経て文筆活動に入る
(30歳)

昭和33年 吉本隆明らと「現代批評」を創刊
(32歳)

昭和38年 「地の群れ」で作家としての地位を確立
(37歳)

昭和52年 日本各地で文学伝習所を開講
(51歳)

昭和54年 野間宏らと「使者」を創刊
(53歳)

平成16年 少年時代を過ごした旧崎戸町に『井上光晴文学室』がオープン

○ 主な受賞歴

昭和45年 年間代表シナリオ賞

○ その他の代表作

ガダルカナル戦詩集(昭33)、死者の時(昭35)、虚構のクレーン(昭35)
黒い森林(昭43)、心優しき叛逆者たち(昭48)、憑かれた人(昭56)